



国総施第176号
国総建第332号
国総振第149号
平成18年 3月 9日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（2月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届 出 日 別紙のとおり
2. 届 出 者 〃
3. 建設機械名 〃
4. 通 称 名 〃
5. 型 式 〃
6. 不具合の部位 〃
7. 内 容 〃

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall05/recall_.html

建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成18年2月分)

番号	届出日	届出者	建設機種名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成18年2月8日	住友ナコ マテリアル ハンドリング(株)	フォークリフト	VII.FG10P.VII.FG14P.VII.FG15P VII.FGT18P.VII.FD15P.VII.FG20P VI.FG25P.VI.FGL20P.VI.FG30P VI.FGT30P.VI.FD20P.VI.FD25P VI.FD25P.VI.FD30P.VI.FG20P VII.FG25P.VII.FG20P.VII.FG25P VII.FGT20P.VII.FGT25P.VII.FG30P VII.FGT30P.VII.FD20P.VII.FD25P VII.FD20P.VII.FD25P.VII.FD25P VII.FD25P.VII.FD30P.VII.FD30P VII.FD35P.VII.FD40P.VII.FD45P VII.FD50P.VII.FD35P.VII.FD40P VII.FD35P.VII.FD40P.VII.FD40P VII.FD45P.VII.FD40P.VII.FD45P VII.FD50P.VII.FD50P.VII	GIH,G1J,D1F,G2E,G3E,D2F,D2G,D3 F,G2G,G2H,G3F,D2H,SA- D2H,D2J,SB-D2J,D3G,SB- D3G,D4D,D4E,D4F,D4G,SB- D4G,D4H,SB-D4H,D4J,SB-D4J	472台	
2	平成18年2月10日	(株)小松製作所	シヨベルローダ	WA270-5,WA200-5	W104,SC-W104,W109,SC-W109	走行装置(ホイール)	119台
3	平成18年2月15日	(株)小松製作所	ホイールクレーン	LW250-5,LW100-1,LT300-2	L003,L004	かじ取り装置	35台
4							
5							
6							
7							
8							
9							

※詳細は別添の「リコール届出一覧表」を参照して下さい。

連絡先: 国土交通省 自動車交通局 技術安全部
 審査課 リコール対策室
 電話番号: 03-5253-8111 内線: 42353
 アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

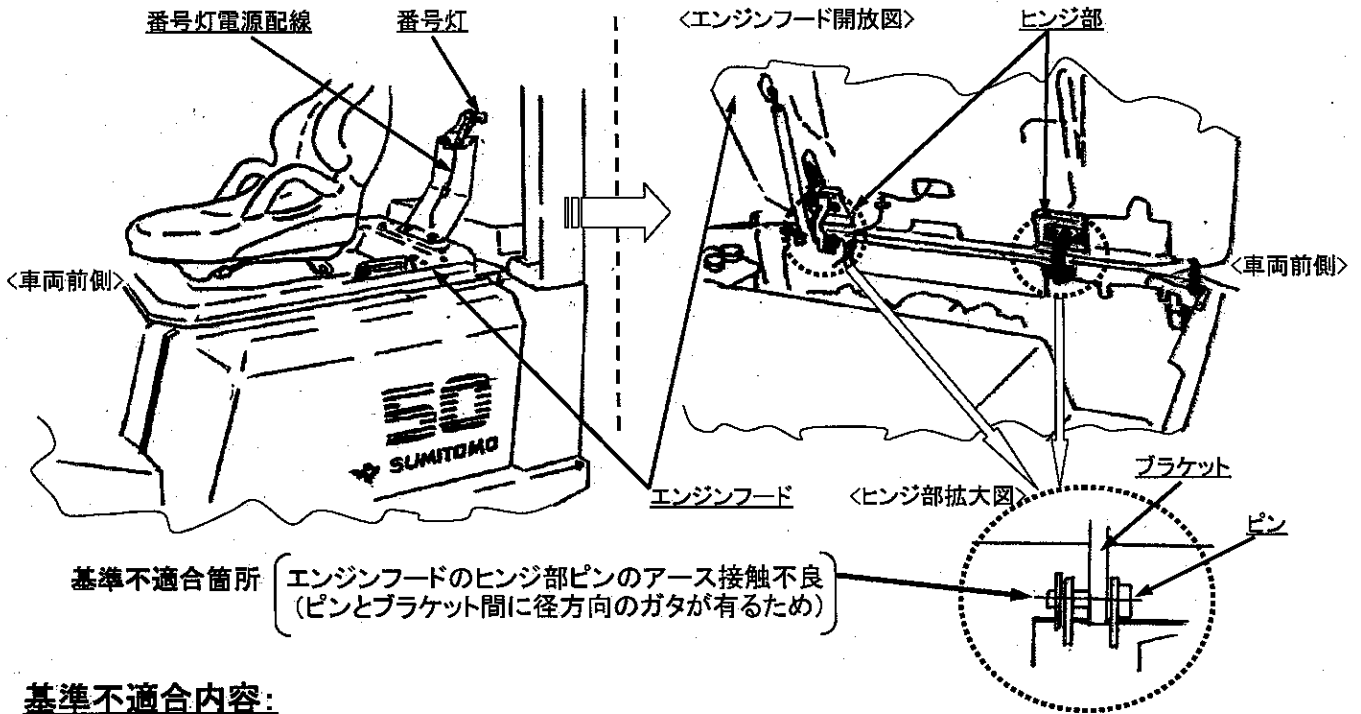
リコール届出一覧表

リコール届出日 : 平成18年2月8日

リコール届出番号	1619	リコール開始日	平成18年2月9日		
届出者の氏名又は名称	住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社 代表取締役社長 木村 宣夫 [製作国: 日本 製作者名: 住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社] 問い合わせ先: 品質保証部 0562-48-5275				
不具合の部位(部品名)	番号灯(配線)				
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	番号灯のアース回路の接続先が不適切なため、その経路となっているエンジンフードのヒンジ部ピンのガタにより、アース不良を起こすものがある。そのため、走行中の振動等により番号灯が点灯しなくなる、又は、点滅するおそれがある。				
改善措置の内容	全車両、番号灯取付部とフレーム間を直接接続する専用のアース配線を追加する。				
不具合件数	0件	事故の有無	なし		
発見の動機	独立行政法人交通安全環境研究所からの指摘による。				
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者: ダイレクトメール又は直接訪問等で通知する。 ・自動車分解整備事業者: 使用者を全て把握しているので周知の為の措置はとらない。 ・対策実施済み車: フロントカウル前面左側面にステッカー(No.1619)を貼付けする。 				
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
住友イー	G1H	FG10PⅦ、FG14PⅦ	G1H-10490~G1H-10849 平成8年8月3日~平成10年10月27日	2台	
住友イー	G1J	FG15PⅦ、FGT18PⅦ	G1J-11873~G1J-12115 平成15年7月16日~平成16年9月9日	3台	
住友イー	D1F	FD15PⅦ	D1F-10254~D1F-10596 平成8年3月14日~平成10年4月16日	4台	
住友イー	G2E	FG20PⅥ、FG25PⅥ、FGL25PⅥ	G2E-00418~G2E-01515 平成5年4月15日~平成9年6月24日	9台	
住友イー	G3E	FG30PⅥ、FGT30PⅥ	G3E-00036~G3E-00200 平成8年8月3日~平成8年10月29日	6台	
住友イー	D2F	FD20PⅥ、FD25PⅥ	D2F-00698~D2F-02189 平成3年2月13日~平成9年3月24日	13台	
住友イー	D2G	FD25PⅥ	D2G-00505~D2G-01462 平成4年6月19日~平成9年7月11日	48台	
住友イー	D3F	FD30PⅥ	D3F-00380~D3F-00983 平成4年8月7日~平成9年9月24日	33台	
住友イー	G2G	FG20PⅦ、FG25PⅦ	G2G-00054~G2G-00839 平成9年11月21日~平成16年8月17日	4台	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲 及び製作期間	リコール対象車 の台数	備考
住友エール	G2H	FG20PⅦ、FG25PⅦ、 FGT20PⅦ、FGT25PⅦ	G2H-00065～G2H-00483 平成10年5月22日～平成15年12月25日	4台	
住友エール	G3F	FG30PⅦ、FGT30PⅦ	G3F-00026～G3F-05045 平成10年1月20日～平成17年12月19日	8台	
住友エール	D2H	FD20PⅦ、FD25PⅦ	D2H-00018～D2H-01131 平成10年10月27日～平成16年5月26日	20台	
住友エール	SA-D2H	FD20PⅦ、FD25PⅦ	D2H-21058～D2H-21152 平成17年4月19日～平成17年12月12日	4台	
住友エール	D2J	FD25PⅦ	D2J-00020～D2J-01283 平成9年9月29日～平成16年8月23日	44台	
住友エール	SB-D2J	FD25PⅦ	D2J-20031～D2J-21095 平成16年10月25日～平成17年4月29日	2台	
住友エール	D3G	FD30PⅦ	D3G-00013～D3G-00772 平成9年9月26日～平成16年8月30日	59台	
住友エール	SB-D3G	FD30PⅦ	D3G-20005～D3G-21105 平成16年9月28日～平成17年10月5日	18台	
住友エール	D4D	FD35PⅦ	D4D-00110～D4D-00448 平成6年9月13日～平成12年12月7日	23台	
住友エール	D4E	FD40PⅦ、FD45PⅦ	D4E-00017～D4E-00378 平成5年1月28日～平成12年12月19日	57台	
住友エール	D4F	FD50PⅦ	D4F-00037～D4F-00128 平成7年11月20日～平成12年10月31日	11台	
SN	D4G	FD35PⅧ、FD40PⅧ	D4G-10011～D4G-10197 平成13年1月29日～平成16年6月4日	22台	
SN	SB-D4G	FD35PⅧ、FD40PⅧ	D4G-20009～D4G-21064 平成16年10月29日～平成17年10月31日	9台	
SN	D4H	FD40PⅧ、FD45PⅧ	D4H-10014～D4H-10183 平成13年2月2日～平成16年9月2日	37台	
SN	SB-D4H	FD40PⅧ、FD45PⅧ	D4H-20001～D4H-21054 平成16年10月7日～平成17年12月28日	9台	
SN	D4J	FD50PⅧ	D4J-10024～D4J-10107 平成13年9月25日～平成16年8月19日	16台	
SN	SB-D4J	FD50PⅧ	D4J-20002～D4J-21024 平成16年10月22日～平成17年11月14日	7台	
	計26型 式	計44車種	製作期間の全体の範囲 :平成3年2月13日～平成17年12月28日	計472台	

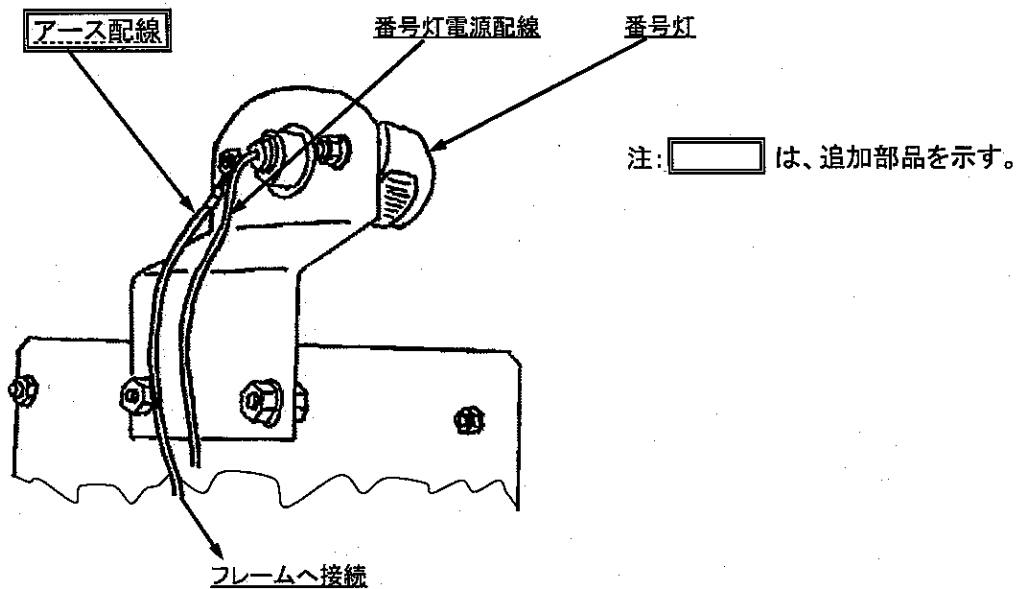
改善箇所説明図



基準不適合内容:

ナンバー灯のアース回路の接続先が不適切なため、その経路となっているエンジンフードのヒンジ部ピンのガタにより、アース不良を起こすものがある。そのため、走行中の振動等によりナンバー灯が点灯しなくなる、又は、点滅するおそれがある。

改善内容:



改善内容:
全車両、ナンバー灯取付部とフレーム間を直接接続する専用のアース配線を追加する。
識別:
作業が終了したら、ナンバー灯取り付けブラケット部に白ペンキでマーキングする。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(CC))	備考
住友エール	G1H	FG10PⅦ、FG14PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ D5 (総排気量1,490cc)	
住友エール	G1J	FG15PⅦ、FGT18PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ FE (総排気量1,998cc)	
住友エール	D1F	FD15PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ XA (総排気量2,522cc)	
住友エール	G2E	FG20PⅥ、FG25PⅥ、FGL20PⅥ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ FE (総排気量1,998cc)	
住友エール	G3E	FG30PⅥ、FGT30PⅥ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ F2 (総排気量2,184cc)	
住友エール	D2F	FD20PⅥ、FD25PⅥ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ XA (総排気量2,522cc)	
住友エール	D2G	FD25PⅥ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ HA (総排気量2,977cc)	
住友エール	D3F	FD30PⅥ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ HA (総排気量2,977cc)	
住友エール	G2G	FG20PⅦ、FG25PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ FE (総排気量1,998cc)	
住友エール	G2H	FG20PⅦ、FG25PⅦ、FGT20PⅦ、 FGT25PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ F2 (総排気量2,184cc)	
住友エール	G3F	FG30PⅦ、FGT30PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ F2 (総排気量2,184cc)	
住友エール	D2H	FD20PⅦ、FD25PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ XA (総排気量2,522cc)	
住友エール	SA-D2H	FD20PⅦ、FD25PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ XA (総排気量2,522cc)	
住友エール	D2J	FD25PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ HA (総排気量2,977cc)	
住友エール	SB-D2J	FD25PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ HA (総排気量2,977cc)	
住友エール	D3G	FD30PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ HA (総排気量2,977cc)	
住友エール	SB-D3G	FD30PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ HA (総排気量2,977cc)	
住友エール	D4D	FD35PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ TM (総排気量4,553cc)	
住友エール	D4E	FD40PⅦ、FD45PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ TM (総排気量4,553cc)	
住友エール	D4F	FD50PⅦ	大型特殊-	フォークリフト	マツダ TM (総排気量4,553cc)	
SN	D4G	FD35PⅧ、FD40PⅧ	大型特殊-	フォークリフト	三菱 S6S (総排気量4,996cc)	
SN	SB-D4G	FD35PⅧ、FD40PⅧ	大型特殊-	フォークリフト	三菱 S6S (総排気量4,996cc)	
SN	D4H	FD40PⅧ、FD45PⅧ	大型特殊-	フォークリフト	三菱 S6S (総排気量4,996cc)	
SN	SB-D4H	FD40PⅧ、FD45PⅧ	大型特殊-	フォークリフト	三菱 S6S (総排気量4,996cc)	
SN	D4J	FD50PⅧ	大型特殊-	フォークリフト	三菱 S6S (総排気量4,996cc)	
SN	SB-D4J	FD50PⅧ	大型特殊-	フォークリフト	三菱 S6S (総排気量4,996cc)	

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

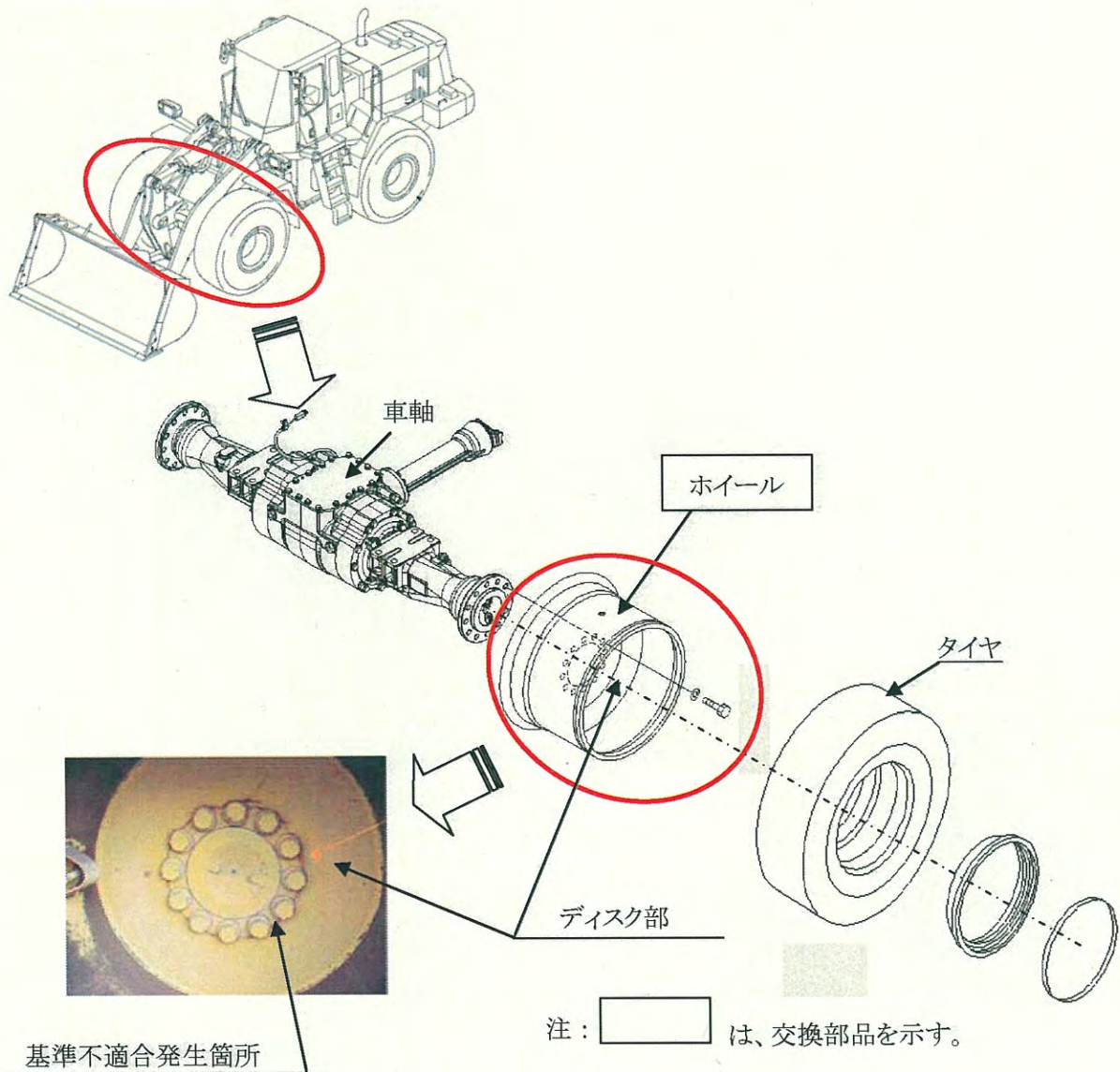
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成18年 2月 10日

リコール届出番号	1621	リコール開始日	平成18年2月10日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘 (製作者名: 株式会社 小松製作所 問い合わせ先: 品質保証部 03-5561-2686)		
不適合の部位(部品名)	走行装置(ホイール)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ホイールにおいて、ディスク部の加工が不適切なため、強度が不足しているものがあり、作業中の高負荷の繰り返しにより当該ディスク部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、ディスク部が破損してタイヤが外れ、走行できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ホイールを良品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者には、直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者には、使用者を把握しているので周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.1621)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	W104	WA270-5	W104-70001~W104-70457 平成14年9月24日~平成16年8月9日	36台	
	SC-W104		W104-70501~W104-70982 平成16年8月24日~平成17年11月11日	72台	
	W109	WA200-5	W109-65001~W109-65432 平成15年7月2日~平成16年8月13日	6台	
	SC-W109		W109-65501~W109-67187 平成16年7月8日~平成17年9月22日	5台	
	(計4型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成14年9月24日~平成17年11月11日	(計119台)	

改善箇所説明図

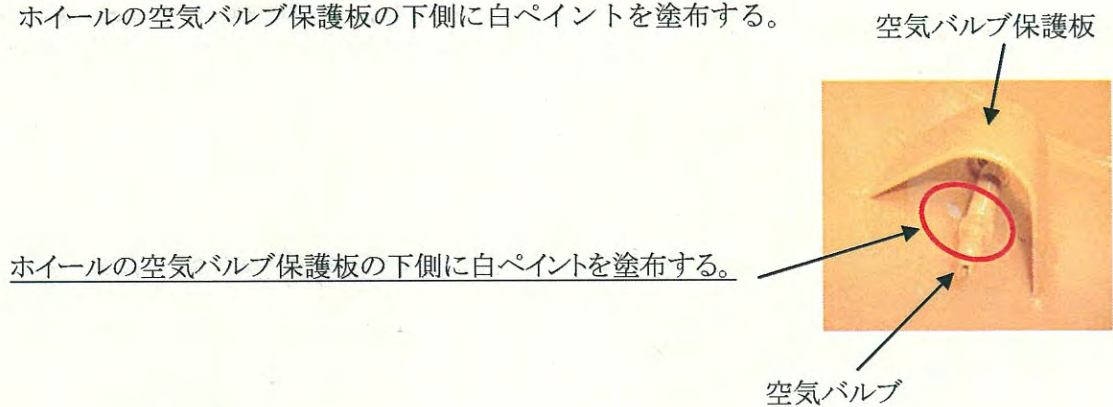


基準不適合発生箇所

ホイールにおいて、ディスク部の加工が不適切なため、強度が不足しているものがあり、作業中の高負荷の繰り返しの繰り返しにより当該ディスク部に亀裂が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、ディスク部が破損してタイヤが外れ、走行できなくなるおそれがある。

改善措置の内容：全車両、ホイールを良品と交換する。

識別：ホイールの空気バルブ保護板の下側に白ペイントを塗布する。



ホイールの空気バルブ保護板の下側に白ペイントを塗布する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
コマツ	W104	WA270-5	大型特殊 建設機械	ショベル・ローダ	6D102 (5,883)	
	SC-W104					
	W109	WA200-5				
	SC-W109					

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL:03-5253-8111 内線 42-353
URL:http://www.mlit.go.jp

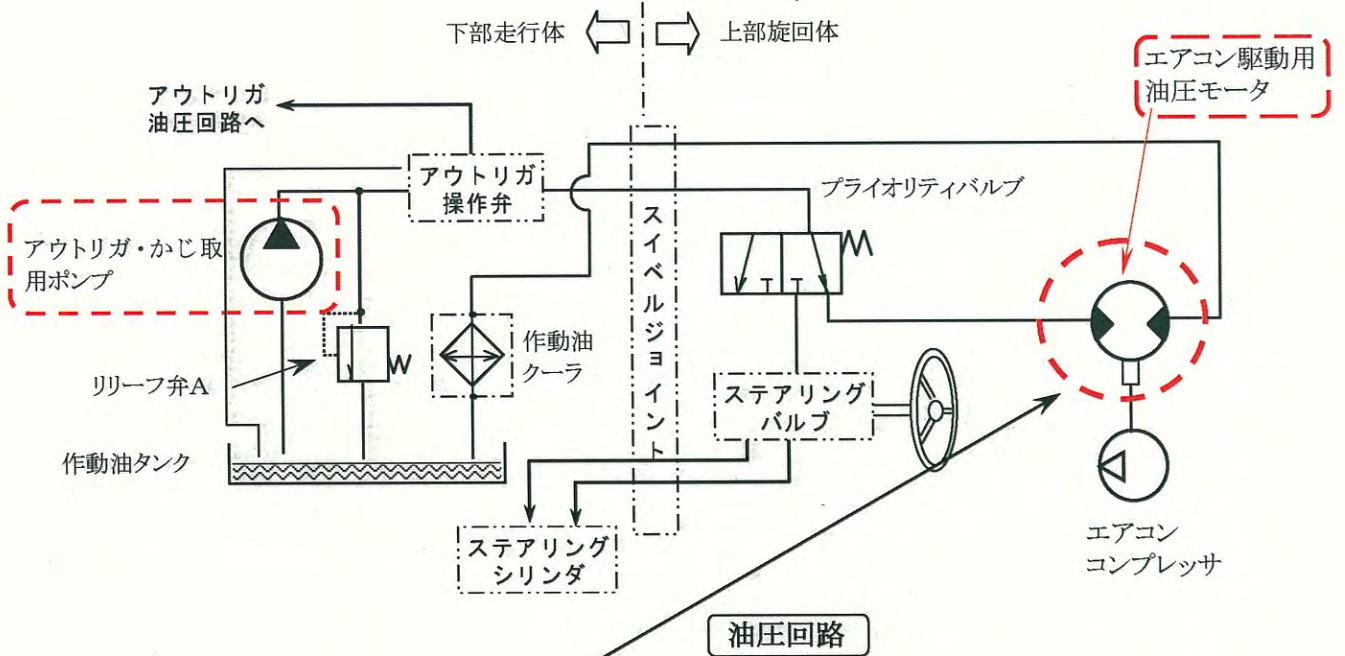
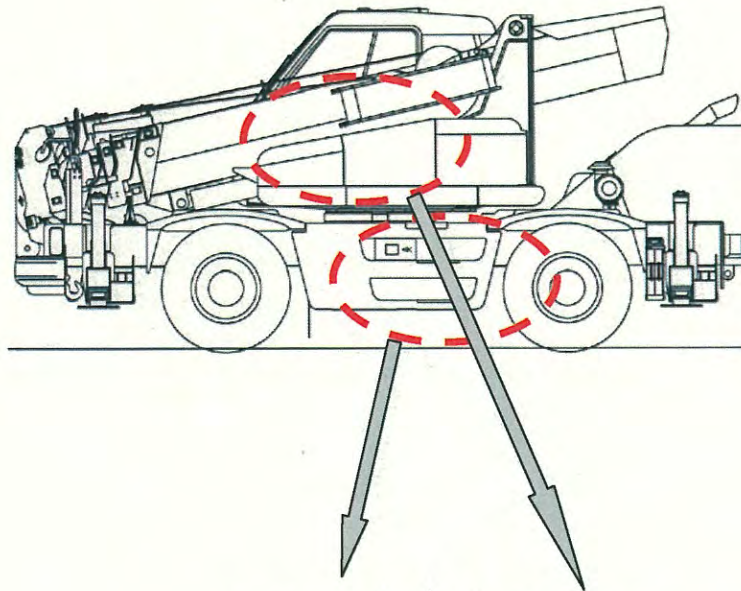
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 18年 2月 15日

リコール届出番号	1622	リコール開始日	平成 18年 2月 15日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘 (製作者名:株式会社 小松製作所 問い合わせ先:品質保証部 03-5561-2686)		
不適合の部位(部品名)	かじ取装置		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	全油圧式かじ取装置の油圧回路が不適切なため、作動油を共用しているエアコン駆動用油圧モータに作動不良が生じた場合、作動油が過熱することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、かじ取ポンプの効率が低下して、かじ取装置への作動油の供給量が不足し、最悪の場合、確実なかじ取操作ができなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、下記の改善措置を実施する。 ① 当該油圧モータを対策品に交換する。 ② 当該油圧モータに作動不良が生じた場合でも、かじ取装置に十分な作動油が供給されるようにバイパスリリーフ弁を追加する。 ③ 作動油の温度が一定以上に上昇した場合に、運転者に警告するための警告灯を追加する。		
不具合件数	6件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者には、直接電話またはダイレクトメール等で連絡する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を把握しているので周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.1622)をキャブの後部窓内側左下に貼り付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松メック	L003	LW250-5	L003-50442~L003-50447 L003-53227 (平成15年5月15日~平成16年2月20日)	7	
小松メック	L004	LW100-1	L004-10426~L004-10433 L004-15425~L004-15430 (平成15年5月8日~平成16年6月17日)	12	
小松メック	L004	LT300-2	L004-21057~L004-21072 (平成15年5月12日~平成16年6月30日)	16	
	(計2型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年5月8日~平成16年6月30日	(計35台)	

改善箇所説明図



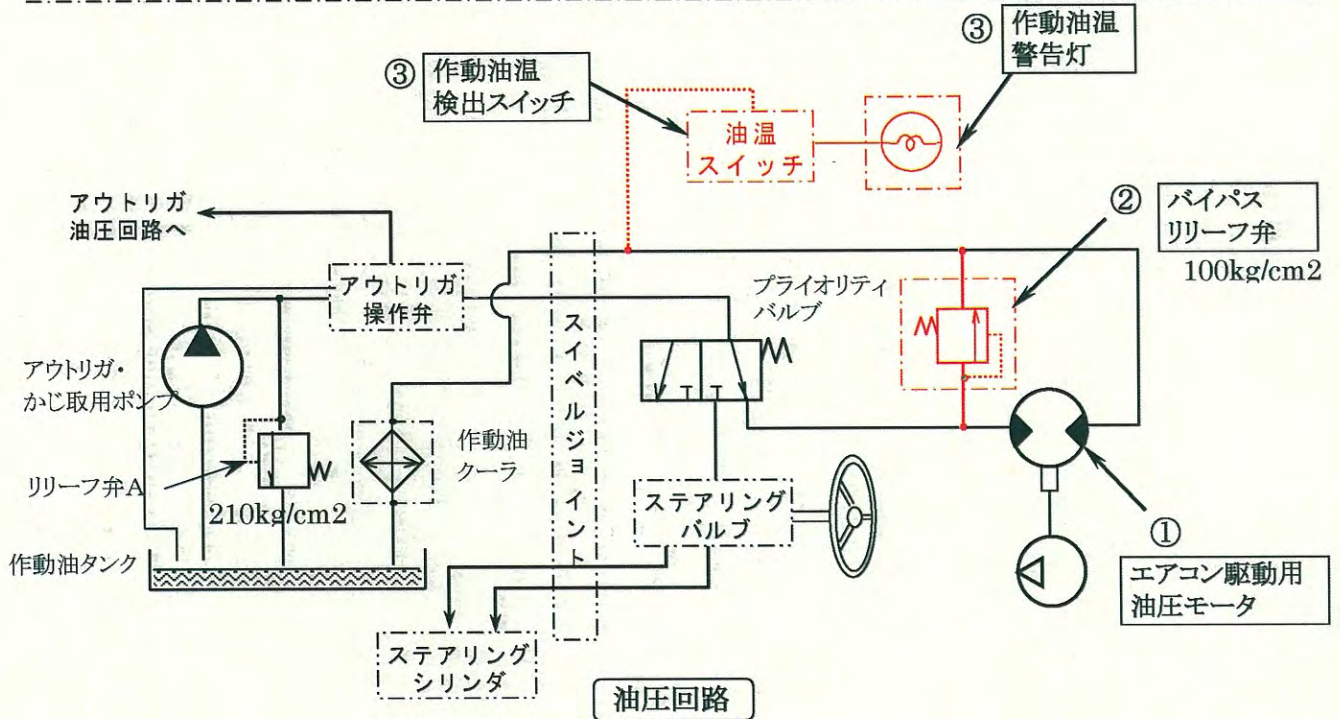
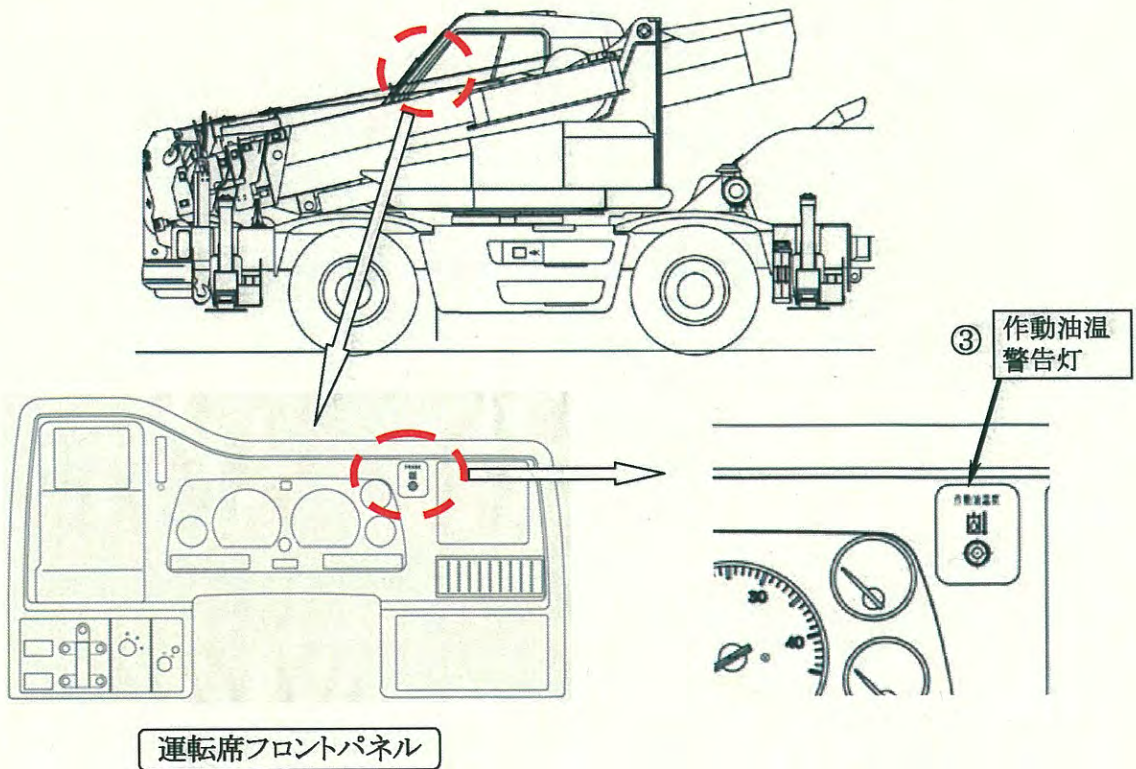
基準不適合発生箇所

全油圧式かじ取装置の油圧回路が不適切なため、作動油を共用しているエアコン駆動用油圧モータに作動不良が生じた場合、作動油が過熱することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、かじ取用ポンプの効率が低下して、かじ取装置への作動油の供給量が不足し、最悪の場合、確実なかじ取操作ができなくなるおそれがある。

改善措置の内容:

全車両、下記の改善措置を実施する。

- ① 当該油圧モータを対策品に交換する。
- ② 当該油圧モータに作動不良が生じた場合でも、かじ取装置に十分な作動油が供給されるようにバイパスリリーフ弁を追加する。
- ③ 作動油の温度が一定以上に上昇した場合に、運転者に警告するための警告灯を追加する。



注) は追加・変更部品を示す。

識別: 改善実施済車両は運転席内に作動油温警告灯を有することで識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備 考
小松メック	L003	LW250-5	大型特殊 建設機械	ホイール・クレーン	小松6D125 (11,044)	
小松メック	L004	LW100-1	大型特殊 建設機械	ホイール・クレーン	小松6D95L (4,890)	
小松メック	L004(改)	LT300-2	大型特殊 建設機械	ホイール・クレーン	小松6D95L (4,890)	